

平成22年度

東京医療保健大学大学院
感染制御実践看護学講座

受講者募集要項

東京医療保健大学大学院「感染制御実践看護学講座」について

—現職業務を継続しながらの受講が可能—

診療報酬改正に伴う入院時の感染防止対策加算(100点) の要件となる専任看護師の養成基準による講座

本年3月に基本診療の施設基準等の一部改正が行われ、5年以上感染管理に従事した経験を有し感染管理に係る適切な研修を修了した専任の看護師等からなる感染防止対策チームを組織して、感染防止に係る日常業務を行うなどの要件を満たしている場合には、感染防止対策加算(100点)が算定できることになりました。

東京医療保健大学大学院医療保健学研究科では、この感染管理に係る専任の看護師の養成基準による「感染制御実践看護学講座」(6ヶ月研修)を開講し、修了認定証を授与することといたします。

「感染制御実践看護学講座」(6ヶ月研修)は、感染制御実践看護師育成を目的とし、現在勤務している自施設の業務を継続しながら受講できる教育カリキュラム(週末講義、集中講義、臨地実習、課題演習など)を編成し、本学の大学院医療保健学研究科の感染制御学専門課程の教育スタッフを中心に、日本の感染制御学を開発してきた第一人者(医師、看護師)を網羅して教育を行います。

「臨地実習」は、自施設の日常活動を重視した課題学習等を中心の研修とし、本学の教育スタッフが各施設に出向いての指導、当該施設のICTを活用して水準向上を図る教育、多職種専門家とのコラボレーション教育等を行います。

「課題演習」では、本学の社会人対象大学院(業務を継続しながらの大学院教育)における十分な経験を生かし、電子媒体等を活用した教育実績に基づいた効果的指導を行います。

本講座を受講・修了し、認定試験に合格した看護師には、東京医療保健大学大学院学長から感染防止対策加算の施設基準による感染管理に係る専任の看護師としての「感染制御実践看護学講座」の修了認定証を授与します。

なお、この「感染制御実践看護学講座」(6ヶ月研修)は、感染防止対策加算(100点)の要件となる感染管理に係る専任の看護師の養成基準による講座として開講するために、応募資格を、感染制御チームの一員として5年以上の感染管理に従事した経験があることや、講座修了後、自施設で感染制御チーム要員として専従又は専任となることが見込まれる者など、後述の2. 応募資格・要件のとおりとしております。

1. 募集人員

約20人

2. 応募資格・要件

応募することのできる者は、次の各号のすべての条件を満たした看護師とする。

- (1) 保険医療機関等において5年以上感染管理に従事した経験を有すること。
- (2) 勤務先病院長の推薦がある者で、講座終了後、感染防止に係る部門の感染防止対策チーム要員として専従又は専任となることが見込まれるもの。
- (3) 日本病院会主催の感染制御講習会(ICS 養成講習会)修了者又はこれに準ずる能力を有すると認められる者。
- (4) 勤務先病院に指導的立場のインフェクションコントロールドクター(ICD)が配置されていること。

3. 応募期間

平成22年6月14日(月)～7月12日(月) 郵送(書留)に限る。(必着)

4. 試験(選考)日

平成22年7月17日(土)

5. 応募申込書類

記入は、黒又は青のボールペンで自筆してください。

パソコン等で作成する場合、「氏名」は、自筆してください。

	提出書類	適用
1	講座申込書(履歴書含む。) (様式1)	・本学所定用紙を使ってください。 ・所定欄に写真を貼ってください。 ・履歴書の記入にあたっては、保険医療機関等において感染管理に従事した経験が分かるよう留意して記入してください。

	提出書類	適用
2	勤務先病院長の推薦状 (様式2) (下記の記載事項を含む。) 記 ①感染制御チーム等での専従又は専任となる見込みであること ②勤務先病院に、指導的立場のインフェクションコントロールドクター(ICD)が配置されていること	本学所定用紙に所要事項を記入し、勤務先病院長等の所属長の捺印をいただいたものを提出してください。
3	受験(選考)票 (様式3)	本学所定用紙に記入してください。
4	受験(選考)票返送用封筒 (添付のもの)	添付されている封筒に、郵便番号、住所、氏名を記入し、80円切手を貼ってください。

※	受講料 (指定施設臨地実習の経費は除く。)	受講料(70万円)は、受験(選考)日以降、受講が確定した後に、本学指定口座に納入していただきます。
---	--------------------------	---

6. 応募申込方法

上記(表)の講座申込書等をまとめ、本学所定の封筒を用いて「書留」扱いで郵送してください。

受験(選考)票は、講座申込書等を受領後送付します。

送付先

〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17

東京医療保健大学 感染制御実践看護学講座 事務局

(注1)応募後の提出書類の変更は認めません。

(注2)提出された書類は、理由の如何を問わず返還しません。

7. 試験(選考)会場

東京医療保健大学 五反田キャンパス

東京都品川区東五反田4-1-17

電話 03-5421-7655

8. 試験(選考)方法

(1)小論文 1, 600字程度 作成時間75分 (辞書・辞典等持込可)

パソコンを持参しての作成を「可」とします。

(注)パソコン利用の場合、CD-R 又は USB メモリに書き込んで提出していただきますが、書き込みは、原則として、試験時間中に行っていただきます。

書き込み文書名には、受験番号・氏名を必ず記入してください。

提出用の CD-R 又は USB メモリは持参してください。USB メモリは返還しますが、CD-R は返還いたしません。

(2)面接

＜判定方法＞小論文、面接、提出書類を総合して判定します。

9. 試験(選考)日 (平成22年7月17日(土))の予定

日程の詳細は、受験(選考)票発送時に併せて連絡します。

受付	日程説明	小論文	面接
09:00~09:30	09:30~09:45	09:45~11:00	11:15~17:00

10. 受講者決定日・通知

(1)受講者決定日 平成22年7月26日(月)

(2)通知 受講者決定日に受講決定通知書及び手続き書類を本人宛て速達で郵送(講座申込書の住所)します。

(3)学内掲示は行いません。

(4)電話等による可否の問い合わせには応じられません。

11. 受講決定者の予防接種

臨地実習を行うために、次の表の抗体が陽性化していることが望ましいので、受講決定者には予防接種の記録の提出及び「ツ反」の結果を提出していただくこととしています。

流行性耳下腺炎	麻疹	風疹	水痘	B型肝炎	ツ反
---------	----	----	----	------	----

12. 受講手続

(1)受講手続期間 平成22年7月26日(月)~平成22年8月2日(月)

(2)受講手続き 受講決定通知書に併せて送付された手続き書類により受講手続期間内に受講手続きと受講料の納付を完了してください。

(3)受講決定取消 受講手続期間内に受講手続きを完了しない者は、受講の意思がないものとみなし、受講決定を取り消します。

13. 受講料の納入ほか受講に必要な経費

- (1) 受講料は、受講手続期間(7月26日(月)～8月2日(月))に指定口座に納入の上、振込受付証明書を手続き書類と一緒に郵送してください。
ただし、勤務先病院等が本人に代わって納入する場合で、納入事務手続きに時間がかかる場合には、納入手続き中である旨の勤務先が発行する書面(勤務先の発行する様式で可)を、手続き書類と一緒に郵送してください。
- (2) 受講者には、看護専門職の研修補償制度「Will & e-kango」(予定)への加入を義務付けています。
この手続き及び掛金5,790円(予定)は、受講初日に、別途お支払いいただく予定です。
- (3) また、別途、指定施設臨地実習(A又はB)の経費をお支払いいただきます。
実習費用は実習施設によって異なりますので、実習施設が決まった後に、金額、納付方法をご連絡します。
- (4) 納入された受講料は、理由の如何を問わず返還いたしません。

14. 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱いについては、下記のとおりとします。

- (1) 応募書類により入手した住所、氏名、その他の個人情報については、①提出書類に不備があった場合の連絡 ②受講可否の連絡 ③受講決定した場合の通知書、受講手続書類や、開講式の案内の送付・連絡 ④受講後の各種案内の送付・連絡 ⑤受講者編成・名簿の作成など、講座を実施し運営するために利用し、それ以外の用途には一切使用しません。
- (2) なお、個人情報を基に作成した受講状況等の統計情報にあつては、個人を特定しない形で、パンフレット、ホームページ等で公表することがあります。

15. 開講式

平成22年8月28日(土) 9:00から
東京医療保健大学 五反田キャンパス
東京都品川区東五反田4-1-17

16. 問合せ先

〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17
東京医療保健大学 感染制御実践看護学講座(6ヵ月研修)事務局
TEL : 03-5421-7655 E-mail: kansenkouza@thcu.ac.jp

(様式1)

受験番号	*
------	---

平成22年度 東京医療保健大学大学院感染制御実践看護学講座申込書				
(ふりがな) 氏名		男女	本籍	都道府県
生年月日	昭和 年 月 日生 (満 才)			写真貼付欄 縦4cm×横3cm 最近3ヶ月以内に撮影したもの (裏面に氏名記入) (平成 年 月撮影)
感染管理に従事した勤務年数を記入	年 月			
本人の住所 (応募に関する確実な連絡先を記入)	〒 ー TEL ()			
本人以外の応募に関する連絡先(家族等)	氏名			続柄
	住所	〒 ー TEL ()		
履歴書(1) (高等学校卒業から現在までの学業、職業、などの経歴を記入)	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			

(記入上の注意)

1. 黒又は青のボールペンを用いて楷書で正確に記入してください。
パソコンでの作成の場合、「氏名」は、自筆してください。
2. 感染管理に従事した勤務年数は、次ページの履歴書(2)の勤務年数の合計を記入してください。
3. 就職している者は、勤務先を履歴書欄に記入してください。
4. 住所欄は、通知・照会などを確実に受け取ることができる場所を記入してください。
5. 受験番号(*欄)は記入しないでください。

(様式2)

東京医療保健大学長 殿

勤務先所在地

勤務先所属長の職・氏名

印

下記の者が、平成22年度東京医療保健大学大学院「感染制御実践看護学講座」を受講することについて推薦します。

なお、当該人の勤務先病院においては、下記の要件を備えていることを申し添えます。

記

1. 受講推薦者の所属

2. 受講推薦者の氏名

3. 受講推薦者の現在の職務と感染管理との関わり

4. 受講推薦者の講習会修了後に見込まれる担当業務（専従又は専任の区分含む。）

<要件>

講座修了後、勤務先の感染制御チーム等での専従又は専任となる見込みであること。
勤務先病院に、指導的立場のインфекションコントロールドクター（ICD）が配置されていること。

(様式3)

平成22年度東京医療保健大学大学院
「感染制御実践看護学講座」受験(選考)票

受験番号(*) _____

氏名(ふりがな) _____

パソコンを利用して小論文を作成する方は、試験当日、
下記の欄に「パソコン利用」と記入してください。

< 試験当日記入 >

写真貼付

縦 4 cm × 横 3 cm

(裏面に氏名記入)

(申込書と同じもの)

(注) ① 受験番号(*) 欄には記入しないでください。

② この受験(選考)票は、試験(選考)後、回収します。

上記の者は、平成22年度の東京医療保健大学大学院
「感染制御実践看護学講座」受験(選考)者であり、入構を許可する。

東京医療保健大学長

(参考)

「感染制御実践看護学講座」(6ヶ月研修)の実施概要

(多少の変更がありうることをご了承ください。)

- 講義等の概要**
- ・土曜日の講義及び課題演習Ⅰ (105コマ)
計26日の土曜(祝)における講義及びグループワークによる課題演習など
 - ・集中講義 (60コマ)
夏季8/30(月)～9/3(金)及び冬季11/20(土)～11/25(木)の集中講義
 - ・臨地実習 (220時間)
指定施設5日40時間 自施設45日間程度180時間 計220時間の臨地実習
 - ・課題演習Ⅱ (30コマ)
大学院講義に準拠した学習と課題によるレポート作成

カリキュラム概要

区分	月	日	0900-1030	1040-1210	1300-1430	1440-1610	1620-1750
集中講義	8月	28	開講式・オリエンテーション				
	9月	30	(集中講義 5日間)				
		31					
		1					
		2					
指定施設実習	5日間	月	臨地実習A (A・B選択) (指定施設の臨地実習AかBのいずれかを受講後、 下表の自施設における臨地実習を受ける。) (1日8時間、5日間)				
		火					
		水					
		木					
		金					
6	10月	2	(土曜日講義)				
7	9						
8	16						
9	23						
10	30						
指定施設実習	5日間	月	臨地実習B (A・B選択) (指定施設の臨地実習AかBのいずれかを受講後、 下表の自施設における臨地実習を受ける。) (1日8時間、5日間)				
		火					
		水					
		木					
		金					
11	11月	6	(土曜日講義)				
12	13						
集中講義	20	土	(集中講義 6日間)				
	21	日					
	22	月					
	23	火(祝)					
	24	水					
	25	木					
13	12月	27	(土曜日講義・課題演習Ⅰ)				
14	4						
15	11						
16	18						
17	25						
18	1月	15					
19	22						
20	29						
21	2月	5					
22	11	金(祝)					
23	12						
24	19						
25	26						
26	3月	5	修了式				

課題演習Ⅱ
講座期間中に1日2時間のべ30日60時間の課題演習を電子媒体等を活用して行う。

自施設実習	10月から2月までの期間中に実施	自施設における臨地実習 (上表の指定施設の臨地実習AかBのいずれかを受講後、自施設において臨地実習を受ける。) <1日4時間、45日程度>
-------	------------------	---

試験日 平成22年7月17日(土)18日(日)19日(月)
試験内容 口述試験を行う。

講義等の内容

土曜講義

感染予防・管理システム	2単位	15コマ30時間
医療関連感染サーベイランス	2単位	15コマ30時間
感染防止技術	2単位	15コマ30時間
職業感染管理	2単位	15コマ30時間
感染管理指導(含ファシリティ・マネジメント)	2単位	15コマ30時間
感染管理相談	2単位	15コマ30時間
洗浄・消毒・滅菌	2単位	15コマ30時間
看護情報のマネジメント、質保証・リスクマネジメント・クリティカルパス論	2単位	15コマ30時間
課題演習 I グループワークによる課題演習	2単位	15コマ30時間

集中講義2回(8月～9月)(11月)

疫学統計学
細菌学実習

集中8単位 60コマ120時間

臨地実習

指定施設実習、自施設実習

15単位相当110コマ220時間

課題演習 II (全期間を通じての課題演習)

本学の大学院に準拠した学習をするとともに、
与えられた課題を分析しレポートにまとめる。

4単位 30コマ60時間

カリキュラムの日程(予定)

NO	月 日	0900-1030	1040-1210	1300-1430	1440-1610	1620-1750
1	8月28 土	開講式・オリ				
集中講義	30 月					
	31 火					
	9月1 水					
	2 木					
	3 金					
2	4 土					
3	11 土					
指定施設実習	連続した5日を予定	月	09:00から16:10			
		火				
		水				
		木				
		金				
4	18 土					
5	25 土					
6	10月2 土					
7	9 土					
8	16 土					
9	23 土					
10	30 土					
11	11月6 土					
12	13 土					
集中講義	20 土					
	21 日					
	22 月					
	23 火					
	24 水					
25 木						
13	27 土					
14	12月4 土					
15	11 土					
16	18 土					
17	25 土					
18	1月15 土					
19	22 土					
20	29 土					
21	2月5 土					
22	11 金					
23	12 土					
24	19 土					